

(別紙)

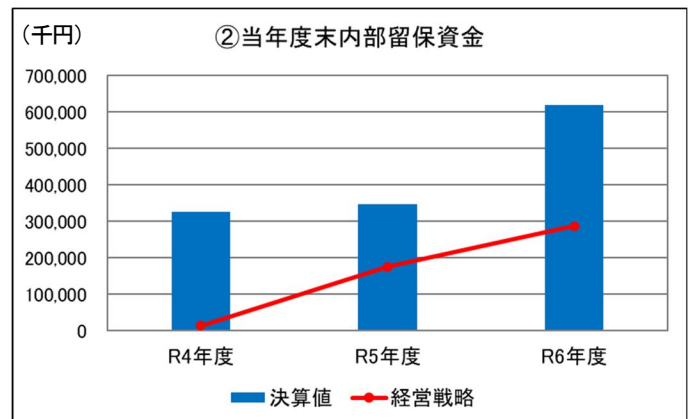
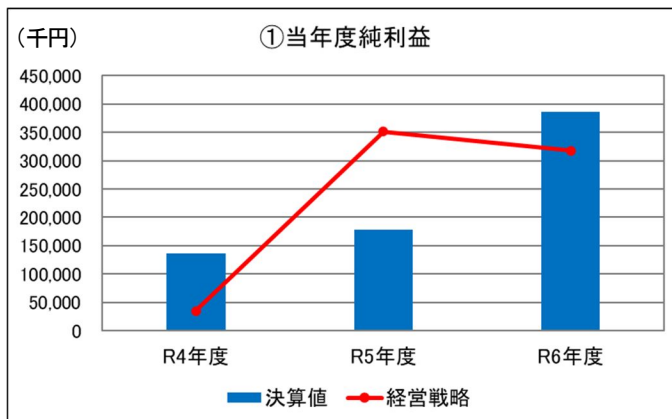
1	<p>水道-4 コメント 無視して頂いてもかまいません</p> <p>実情に応じてではなく、4年に1回など決めてはどうか。議員の任期中に1回は関わってもらうため4年に1回とし、料金改定(据え置き)など検討してはどうでしょうか。</p>	<p>高砂市上下水道事業審議会令和3年11月29日付、高水諮第1号で水道料金の見直しについての諮問に対する令和4年8月22日の答申の2 附帯意見において、『(3) 今後は、5年に1度のペースで料金を見直しを審議会で議論すること。』となっている意見を踏まえ、そのペースで料金改定の必要性を検討することとしています。また、経営戦略の見直しを5年毎に行い、適正な料金設定を検討していきます。</p>
2	<p>資料 1-2(真ん中あたり)[R6 年度]経営戦略と決算見込値の…のところ、</p> <p>①当年度純利益 職員給与費の減少等</p> <p>・「職員数の減少」とわかるように表記した方が良いのでは？</p> <p>・「等」と表記するには、1 つしかないで、他の要因についても表記した方が良くと思う。</p> <p>*この資料がどこに出すものかがわかりませんが、今後活用するのであれば…の話です。</p>	<p>・職員数の減少及び経営努力(県水受水費の減少、台帳システムの上下水道統合に伴う更新委託費の減少)となっています。</p>

水道事業・工業用水道事業・下水道事業経営戦略の事後検証について

(1) 水道事業会計

(単位: 千円)

		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 (中間年度)	R12 年度 (最終年度)	備考
①当年度 純利益	経営戦略	34,788	351,511	317,749	269,888	119,070	R20に赤字発生(△1,781)
	決算値	135,634	178,912	386,502	—	—	※R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	+100,846	△172,599	+68,753	—	—	
②当年度末 内部留保 資金	経営戦略	13,814	175,010	287,308	400,127	165,936	R13に資金不足発生 (△14,114)
	決算値	325,460	348,092	618,325	—	—	※R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	+311,646	+173,082	+331,017	—	—	



[令和6年度] 経営戦略と決算見込値の差の主な要因

①当年度純利益

職員数の減少及び経営努力(県水受水費の減少、台帳システムの上下水道統合に伴う更新委託費の減少)

②当年度末内部留保資金

令和5年度までの内部留保資金のプラス分

令和6年度の当年度純利益、水道管路耐震化に係る国庫補助金及び繰入金のプラス分等

(2) 工業用水道事業会計

(単位: 千円)

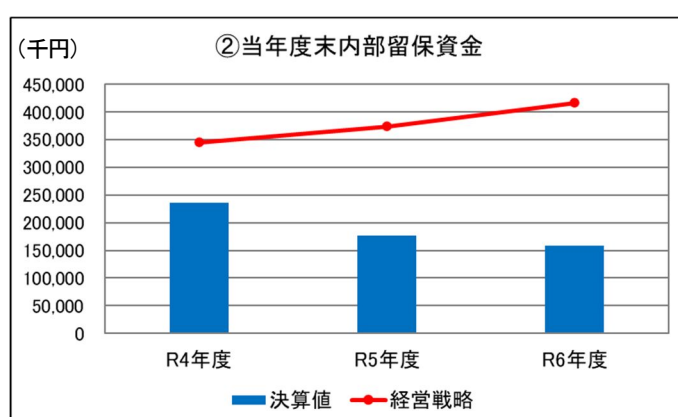
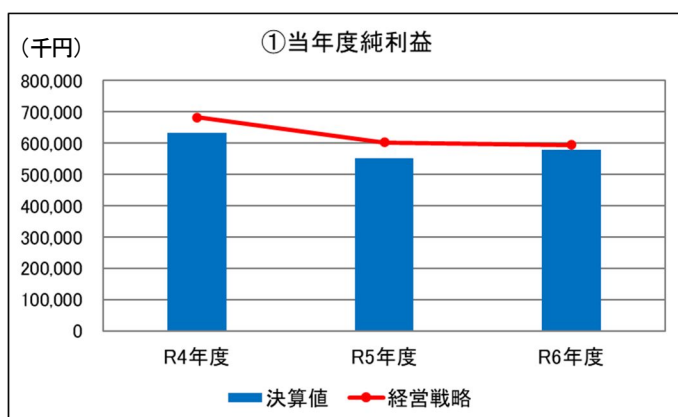
		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 (中間年度)	R12 年度 (最終年度)	備考
①当年度 純利益	経営戦略	0	0	0	0	0	
	決算値	0	0	0	—	—	R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	0	0	0	—	—	
②当年度末 内部留保 資金	経営戦略	—	—	—	—	—	
	決算値	—	—	—	—	—	R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	—	—	—	—	—	

受水企業2社の負担により運営する事業のため、当年度純利益は0円。当年度末内部留保資金も無し。

(3) 下水道事業会計

(単位: 千円)

		R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度 (中間年度)	R12 年度 (最終年度)	備考
①当年度 純利益	経営戦略	681,937	601,896	594,583	461,093	132,156	R13 に赤字発生(△56,362)
	決算値	631,860	551,934	577,416	—	—	※R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	△50,077	△49,962	△17,167	—	—	
②当年度末 内部留保 資金	経営戦略	344,728	373,571	416,160	427,416	1,178,935	R34 に資金不足発生 (△178,073)
	決算値	235,431	176,620	158,849	—	—	※R6 年度は決算見込
	経営戦略と決算値の差	△109,297	△196,951	△257,311	—	—	



[令和6年度] 経営戦略と決算見込値の差の主な要因

- ①当年度純利益
  - 一般会計負担金の減少等
- ②当年度末内部留保資金
  - 令和5年度までの内部留保資金のマイナス分
  - 令和6年度の当年度純利益のマイナス分等

第22回高砂市上下水道事業審議会  
経営戦略資料の質問意見の回答に対する意見について

	意 見・質 問	回 答
1	<p>我々一般市民は、専門的なことは分かりません。安く安全な水道水が提供されれば満足です。最終的な“人的”な仕事にかかってくると思います。市民に信頼される“仕事”“サービス”をお願いします。(もちろん信頼していますがー。)幹部の方々には、長期的な視野に立った財政面(施設、設備の維持管理等)での計画をお願いします。</p>	<p>貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>水道事業、下水道事業は、市民の皆様の生活に欠かせない重要なインフラであり、安定的かつ安全な水の供給、公衆衛生の向上、公共用水域の水質保全を目的とした下水道普及は、私たちの最優先事項です。特に施設や設備の維持管理については、将来を見据えた計画的な更新や財政運営が不可欠です。持続可能な水道事業、下水道事業の実現に向けて計画してまいります。</p> <p>工業用水道事業においても、令和10年度に新しい会計制度の運用開始を目指して、受水企業2社とともに検討してまいります。</p>